年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉 高等学校　令和６年度　教科：　公民　　科目：公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　１・２　年次　1年次①②③ 2年次①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

教科担当者：①佐々木啓真 ②徳永みなみ　③渡邊智寛　④廣岡　祐　⑤青野洋平　⑥多田恭子

使用教科書：（ 高等学校　公共　これからの社会について考える　　）

教科　公民　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理・政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	公共的な空間を作る私たち 【知識・技能】 ・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解する。 ・伝統や文化，宗教などを背景にして現代社会が成り立っていることを理解する。 ・古代から近代の日本の思想家の思想内容を理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己形成の課題について考察する。 ・先哲の思想や伝統，文化，宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付く。 ・自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり，様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れる力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できる。 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか主体的に追究できる。 ・自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとる力を養う。	・指導事項 青年期の心理学 思想と宗教 地域の特徴や課題を見つける SDGｓ（持続可能な開発目標） ・教材 教科書、授業プリント、NHK高校講座オンライン、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 ・伝統や文化，宗教などを背景にして現代社会が成り立っていることが理解している。 ・古代から近代の日本の思想家の思想内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・自己形成の課題について考察できている。 ・先哲の思想や伝統，文化，宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができている。 ・自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり，様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか主体的に追究できている。 ・自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとることができている。	○	○	○	10
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【知識・技能】 ・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解する。 ・地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 【思考・判断・表現】 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察する。 ・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につける。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究している。	・指導項目 西洋近現代の思想 現代の諸課題と倫理 ・教材 教科書、授業プリント、NHK高校講座オンライン、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 ・地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 ・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究できている。	○	○	○	7

	公共的な空間における基本原理 【知識・技能】 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解する。 ・日本国憲法の基本原理や保障されている権利を理解する。 【思考・判断・表現】 ・このような基本的原理を考察することによって，個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察する。 ・日本国憲法の基礎にある考え方に着目し，公共的な空間における基本的原理との関連を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深める。 ・日本国憲法で保障されている権利が理解でき，自らの生き方と権利を結びつける。	・指導項目 民主政治と基本的人権 権力分立と法の支配 個人と社会とのかかわり 日本国憲法と基本原理 平等権・自由権 社会権・参政権・請求権 国会と内閣のしくみ ・教材 教科書、授業プリント、NHK高校講座オンライン、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解できている。 ・日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・このような基本的原理を考察することによって，個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。 ・日本国憲法の基礎にある考え方に着目し，公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。 ・日本国憲法で保障されている権利が理解でき，自らの生き方と権利を結びつけることができている。	○	○	○	10
	ルールをつくり守る私たち 【知識・技能】 ・法や規範の意義や役割が理解できるようにする。 ・公正な裁判には司法権の独立が必要であり，国民の参加が大切であることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・日常の買い物や銀行のクレジットカードなど，身近な契約の例を挙げる力を養う。 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できる。 ・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な紛争状況を設定し，それを解決するためのルール作りを体験的に行う。 ・模擬裁判などを通して，司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持てる。	・指導項目 法や規範の意義と役割 経済社会とルール 司法権と日本の裁判制度 司法参加の意義 ・教材 教科書、授業プリント、NHK高校講座オンライン、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・法や規範の意義や役割が理解できている。 ・公正な裁判には司法権の独立が必要であり，国民の参加が大切であることが理解できている。 【思考・判断・表現】 ・日常の買い物や銀行のクレジットカードなど，身近な契約の例を挙げることができる。 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。 ・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な紛争状況を設定し，それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。 ・模擬裁判などを通して，司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。	○	○	○	10
	政治に参加する私たち 【知識・技能】 ・地方自治や選挙の仕組み，政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解する。 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割を理解する。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割を理解する。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れを理解する。 ・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割を理解する。 ・核軍拡から核軍縮への流れを理解する。 ・現代の世界の紛争や人権問題について理解する。 【思考・判断・表現】 ・選挙制度の違いによって，政党制にも大きな違いがでてくることを考察している。 ・自分が理想とする選挙制度を選択している。 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察している。 ・国連の現状と課題について考察している。 ・留学生や国際NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について判断している。 ・国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・模擬投票などを通して，選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持とうとしている。 ・日々報道される世界の国際紛争に関心を持とうとしている。 ・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示しようとしている。 ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持とうとしている。 ・留学生や国際NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について主体的に追究している。	・指導項目 政治参加と民主政治の課題 国際政治の動向 国際政治の課題と日本の役割 ・教材 教科書、授業プリント、NHK高校講座オンライン、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・地方自治や選挙の仕組み，政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 ・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。 ・核軍拡から核軍縮への流れが理解できている。 ・現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・選挙制度の違いによって，政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 ・自分が理想とする選挙制度を選択することができる。 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。 ・国連の現状と課題について考察できている。 ・留学生や国際NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について判断できている。 ・国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・模擬投票などを通して，選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。 ・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てている。 ・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができている。 ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持てている。 ・留学生や国際NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について主体的に追究できている。	○	○	○	18

後期	経済活動を行う私たち 【知識・技能】 ・現代の企業の果たしている役割が理解できるようにする。 ・中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できるようにする。 ・産業構造の変化と職業選択との関係や，雇用・労働問題について理解できるようにする。 ・市場経済のメカニズムが理解できるようにする。 ・各種経済指標を理解し，その指標の動向を読み解くことができるようにする。 ・金融のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できるようにする。 ・政府が経済に果たしている役割を理解できるようにする。 ・財政のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できるようにする。 ・社会保障について理解できるようにする。 ・貿易や外国為替相場について，そのしくみが理解できるようにする。 ・戦後の国際経済の流れが理解できるようにする。 ・発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの原因や課題を理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 ・現代の企業倫理について考察できるようにする。 ・経済のサービス化が進展し，国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できるようにする。 ・需給曲線を使って，どのような場合に価格が変動するのか考察できるようにする。 ・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか，豊かさについて自分なりに判断できるようにする。 ・自身の老後生活を予想し，租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランスを考察できるようにする。 ・経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し，それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・AI やIT などの先端技術が発展するなかで，自分の進路や職業選択を考えることをできるようにする。 ・経済社会に主体的に生きる一員として，今後の日本経済について見通しがたてられるようにする。 ・商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し，合理的は消費行動をとれるようにする。 ・超低金利時代に生きる一員として，今後の経済設計がきちんとたてられるようにする。 ・日本の経済について課題を発見し，解決する見通しが持てている。	・指導項目 経済のしくみと変化 市場経済のしくみと金融 財政と社会保障 国際経済の動向と課題 ・教材 教科書、授業プリント、NHK高校講座オンライン、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・現代の企業の果たしている役割が理解できている。 ・中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できている。 ・産業構造の変化と職業選択との関係や，雇用・労働問題について理解できている。 ・市場経済のメカニズムが理解できている。 ・各種経済指標を理解し，その指標の動向を読み解くことができている。 ・金融のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・政府が経済に果たしている役割を理解できている。 ・財政のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・社会保障について理解できている。 ・貿易や外国為替相場について，そのしくみが理解できている。 ・戦後の国際経済の流れが理解できている。 ・発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの原因や課題を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・現代の企業倫理について考察できている。 ・経済のサービス化が進展し，国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できている。 ・需給曲線を使って，どのような場合に価格が変動するのか考察できている。 ・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか，豊かさについて自分なりに判断できている。 ・自身の老後生活を予想し，租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランスを考察できている。 ・経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し，それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・AI やIT などの先端技術が発展するなかで，自分の進路や職業選択を考えることができている。 ・経済社会に主体的に生きる一員として，今後の日本経済について見通しがたてられている。 ・商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し，合理的は消費行動がとれている。 ・超低金利時代に生きる一員として，今後の経済設計がきちんとたてられている。 ・日本の経済について課題を発見し，解決する見通しが持てている。	○	○	○	18
	持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【知識・技能】 ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘できるようにする。 ・現代社会の諸問題について，その問題の所在，現状，問題点などが理解できるようにする。 ・現代社会の諸問題について，探究するための資料を収集・選択し，的確に分析できるようにする。	・指導項目 課題研究の観点 課題探究の手引き ・教材 教科書、授業プリント、NHK高校講座オンライン、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘できている。 ・現代社会の諸問題について，その問題の所在，現状，問題点などが理解できている。 ・現代社会の諸問題について，探究するための資料を収集・選択し，的確に分析できている。【思考・判断・表現】 ・現代社会の諸問題の解決のために，事実を基に協働して考察，構想することができている。・現代社会の諸問題を多角				

	分析できるようにする。 【思考・判断・表現】 ・現代社会の諸問題の解決のために，事実を基に協働して考察，構想することができるようにする。 ・現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し，その内容をレポートや口頭発表などによって的確に表現できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまな課題の中で，自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し，探究できるようにする。 ・それぞれが選択した課題について，今後も継続して探究しようという意欲を持つことができるようにする。 ・現代社会の特質から生じる価値の対立について，討論やディベートなどさまざまな方法を活用して主体的に探究できるようにする。		る。・現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し，その内容をレポートや口頭発表などによって的確に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまな課題の中で，自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し，探究できている。 ・それぞれが選択した課題について，今後も継続して探究しようという意欲を持つことができている。 ・現代社会の特質から生じる価値の対立について，討論やディベートなどさまざまな方法を活用して主体的に探究できている。	○	○	○	6
							合計 79

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉 高等学校　令和６年度　教科：　地歴・公民　科目：倫理

教　科：　地歴・公民　　科　目：　倫理　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　１・２　年次　① ② ③ ④

教科担当者：①佐々木啓真 ②渡邊智寛　③青野洋平　④佐々木啓真

使用教科書：（ 高等学校　倫理（第一学習社）　）

教科　地歴・公民　　の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理に関わる現代の諸課題について理解しているとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して，学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり，他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて，多面的・多角的に考察しようとしたりしている。

科目　倫理　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用し、多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に構想したことを議論したりしている。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して，学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり，他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて，多面的・多角的に考察しようとしたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	公共的な空間を作る私たち 【知識・技能】 ・他の生き物と区別される人間の特質を理解する。 ・人間がどのように感じ，学び，考え，行動し，発達するかに関して，心の仕組みと成り立ちを理解する。 ・生きる意味について，様々な視点から考え，今後の自分の生き方に生かす知識として身につける。 【思考・判断・表現】 ・自分の生きている青年期はどのような位置にあり，どのような発達課題があるのかを考える。 ・様々な人間の心のあり方を踏まえて，人間とは何かを思索し，他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。 ・どういうときに生きがいを感じるかを考察し，どのように生きがいを見いだせばよいかを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人間の心のあり方について，科学的に探究した各種の実験や観察，調査に基づく統計的な分析の結果を読み取ったり，対話や作文などを通して学習を深めたりする。	・指導事項 青年期の課題を踏まえ，人格，感情，認知，発達についての心理学の考え方をもとに，様々な人間の心のあり方を理解する。 生きることの意味について，自分自身の問題と捉え，「いかに生きるか」という倫理学習の基本的課題に結び付ける。 ・教材 教科書、授業プリント、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・他の生き物と区別される人間の特質を理解している。 ・人間がどのように感じ，学び，考え，行動し，発達するかに関して，心の仕組みと成り立ちを理解している。 ・生きる意味について，様々な視点から考え，今後の自分の生き方に生かす知識として身につけている。 【思考・判断・表現】 ・自分の生きている青年期はどのような位置にあり，どのような発達課題があるのかを考えている。 ・様々な人間の心のあり方を踏まえて，人間とは何かを思索し，他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めている。 ・どういうときに生きがいを感じるかを考察し，どのように生きがいを見いだせばよいかを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人間の心のあり方について，科学的に探究した各種の実験や観察，調査に基づく統計的な分析の結果を読み取ったり，対話や作文などを通して学習を深めたりしている。	○	○	○	10
	日本固有の思想 【知識・技能】 ・古来の日本人の心情と考え方は，日本の風土で生活する中で育まれたことを理解する。 ・古代の日本人がどのような倫理意識をもっていたのかを理解する。 ・日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教が日本にどのように伝えられ，どのように変容していったのか，その大きな流れを理解する。 ・仏教の諸宗派が文学や芸術にも影響を与え，日本の伝統文化が生まれたことを理解する。 【思考・判断・表現】 ・日本人の意識や心情の底流となっている物事の捉え方，望ましい対人関係を考察する。 ・日本人の価値意識と儒教との関連について理解し，正の部分，負の部分をともに検討する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古来の日本人の心情と考え方をもとに，国際社会に生きる日本人としての人間観，自然観，宗教観などの特質について，主体的に考える。 ・外来思想の受容をもとに，国際社会に生きる日本人としての人間観，自然観，宗教観などの特質について，主体的に考える。	・指導項目 ・日本人の人間観，自然観，宗教観などと，古来の日本人の心情と考え方との関係を理解する。 ・教材 教科書、授業プリント、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・古来の日本人の心情と考え方は，日本の風土で生活する中で育まれたことを理解している。 ・古代の日本人がどのような倫理意識をもっていたのかを理解している。 ・日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教が日本にどのように伝えられ，どのように変容していったのか，その大きな流れを理解している。 ・仏教の諸宗派が文学や芸術にも影響を与え，日本の伝統文化が生まれたことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本人の意識や心情の底流となっている物事の捉え方，望ましい対人関係を考察している。 ・日本人の価値意識と儒教との関連について理解し，正の部分，負の部分をともに検討する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古来の日本人の心情と考え方をもとに，国際社会に生きる日本人としての人間観，自然観，宗教観などの特質について，主体的に考えている。 ・外来思想の受容をもとに，国際社会に生きる日本人としての人間観，自然観，宗教観などの特質について，主体的に考えている。	○	○	○	6

仏教の思想 【知識・技能】 ・インドの人々は，どのような死生観をもっているかを理解する。 ・ゴータマの教えは，深い思索を続ける生き方そのものであることを理解する。 ・すべての命あるものが平等に解脱できる本性をもつことを理解する。 【思考・判断・表現】 ・インド古来の思想と仏教との関係を考察している。 ・日本になじみの深い宗教である仏教の教えを知り，仏教思想の現代的な意義はどこにあるのかを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仏教が人間をどのように捉えているか，どのように生きることを目指しているかについて，多様な倫理に関する諸概念を踏まえながら，自己の課題と重ね合わせて思索する。	・指導項目 仏教をもとに，様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について，自己との関わりにおいて理解する。 ・教材 教科書、授業プリント、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・インドの人々は，どのような死生観をもっているかを理解している。 ・ゴータマの教えは，深い思索を続ける生き方そのものであることを理解している。 ・すべての命あるものが平等に解脱できる本性をもつことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・インド古来の思想と仏教との関係を考察している。 ・日本になじみの深い宗教である仏教の教えを知り，仏教思想の現代的な意義はどこにあるのかを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仏教が人間をどのように捉えているか，どのように生きることを目指しているかについて，多様な倫理に関する諸概念を踏まえながら，自己の課題と重ね合わせて思索している。	○	○	○	10
キリスト・イスラーム思想 【知識・技能】 ・ユダヤ教において，唯一神への信仰は，どのように形成されたのかを理解する。 ・イエスの思想をユダヤ教と対比させて，神の愛・律法の内面化という視点を中心に理解する。 ・イスラームはどのようにして誕生したか，ムハンマドの教えにはどのような特徴があるのか，ユダヤ教やキリスト教とはどのように関係するかを理解する。 【思考・判断・表現】 ・イエスの教えが，なぜ人々の間で受け入れられたのかを考察する。 ・原罪や恩寵の思想に見られるキリスト教の人間観について，自己の課題と重ね合わせて思索する。 ・『クルアーン』について，日常の生活で行うことまで規定していることを読み取る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・イエスの言行やパウロ，古代中世のキリスト教の思想から，人間をどのように捉え，どのように生きることを指し示しているかについて，多様な倫理に関する諸概念を踏まえながら自己の課題と結び付けて思索する。 ・メッカの方向を調べるなどして，イスラームの基本的教義（六信・五行）を実感する。	・指導項目 キリスト教をもとに，様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について，自己との関わりにおいて理解する。 イスラームをもとに，様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について，自己との関わりにおいて理解する。 ・教材 教科書、授業プリント、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・イエスの教えが，なぜ人々の間で受け入れられたのかを考察している。 ・原罪や恩寵の思想に見られるキリスト教の人間観について，自己の課題と重ね合わせて思索している。 ・イスラームはどのようにして誕生したか，ムハンマドの教えにはどのような特徴があるのか，ユダヤ教やキリスト教とはどのように関係するかを理解している。 【思考・判断・表現】 ・イエスの教えが，なぜ人々の間で受け入れられたのかを考察している。 ・原罪や恩寵の思想に見られるキリスト教の人間観について，自己の課題と重ね合わせて思索している。 ・『クルアーン』について，日常の生活で行うことまで規定していることを読み取れている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・イエスの言行やパウロ，古代中世のキリスト教の思想から，人間をどのように捉え，どのように生きることを指し示しているかについて，多様な倫理に関する諸概念を踏まえながら自己の課題と結び付けて思索している。 ・メッカの方向を調べるなどして，イスラームの基本的教義（六信・五行）を実感している。	○	○	○	10
古代ギリシャの思想 【知識・技能】 ・哲学が古代ギリシアで形成された背景を理解する。 ・古代ギリシアに見られる先哲の基本的な考え方が，理性的な人間観に支えられていることを理解する。 ・アリストテレスの現実主義の立場を，プラトンのイデア論と対比しながら理解する。 【思考・判断・表現】 ・ソクラテスの「無知の知」やプラトンのイデア論はどのようなものであるか，両者を比較しながら考察する。 ・「ソクラテスのことば」から，「よく生きることこそ大切である」という彼の信念を読み取る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソクラテスの言行やプラトン，アリストレスの思想，ヘレニズムの思想から，人生への問いや人間の存在や価値について，自己の課題と結び付けて思索する。	・指導項目 古代ギリシアの思想をもとに，様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について，自己との関わりにおいて理解する。 ・教材 教科書、授業プリント、一人１台端末を適宜活用する。	【知識・技能】 ・哲学が古代ギリシアで形成された背景を理解している。 ・古代ギリシアに見られる先哲の基本的な考え方が，理性的な人間観に支えられていることを理解している。 ・アリストテレスの現実主義の立場を，プラトンのイデア論と対比しながら理解している。 【思考・判断・表現】 ・ソクラテスの「無知の知」やプラトンのイデア論はどのようなものであるか，両者を比較しながら考察している。 ・「ソクラテスのことば」から，「よく生きることこそ大切である」という彼の信念を読み取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソクラテスの言行やプラトン，アリストレスの思想，ヘレニズムの思想から，人生への問いや人間の存在や価値について，自己の課題と結び付けて思索している。	○	○	○	18
自由で平等な社会の実現 【知識・技能】 ・社会契約説は，人間をどのように捉え，どのような社会を理想としたのか	・指導項目 自由で平等な社会の実現 1. 社会契約の思想 2. 人格の尊厳と自由	【知識・技能】 ・社会契約説は，人間をどのように捉え，どのような社会を理想としたのかを理解している				

え，どのような社会を理想としたのかを理解する。 ・カントの批判哲学では，人格の尊厳や自由はどのように考えられるかを理解する。 ・ヘーゲルは，歴史や社会をどのように捉えたのかを理解している。 ・ベンサムやミルの幸福に対する考え方の違いを理解する。 【思考・判断・表現】 ・近代ヨーロッパの社会契約説を通して，民主社会の成り立ちを理解し，民主社会を実現した社会契約の思想について，多面的・多角的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ホッブズ，ロック，ルソーに関する資料を収集し，社会契約の思想の違いを整理する。 ・功利主義の思想からよく生きるとはどういうことかを理解し，自分自身の生き方につなげて思索する。	2. 人格の尊厳と自由 3. 人倫と自由の実現 4. 功利主義の思想 ・教材 教科書、授業プリント、一人１台端末を適宜活用する。	る。 ・カントの批判哲学では，人格の尊厳や自由はどのように考えられるかを理解している。 ・ヘーゲルは，歴史や社会をどのように捉えたのかを理解している。 ・ベンサムやミルの幸福に対する考え方の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代ヨーロッパの社会契約説を通して，民主社会の成り立ちを理解し，民主社会を実現した社会契約の思想について，多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ホッブズ，ロック，ルソーに関する資料を収集し，社会契約の思想の違いを整理している。 ・功利主義の思想からよく生きるとはどういうことかを理解し，自分自身の生き方につなげて思索している。	○	○	○	18
現代の諸課題と倫理 【知識・技能】 ・生命との関わりにおいて，これまで学んだ内容や課題を解決するための知	・指導項目 1　生命の問題と倫理課題 2　地球環境の問題と倫理的課題 ・教材	【知識・技能】 ・生命との関わりにおいて，これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。				